

事業報告

自：平成 27 年 4 月 1 日

至：平成 28 年 3 月 31 日

戦後の開拓事業により入植した開拓者による開拓営農は、国民・消費者に安全・安心な食料の供給の一翼を担ってきており、現在、二世、三世に引き継がれ、積極的に展開されてきております。

農畜産業を取り巻く情勢は、一昨年後半から原油価格が大きく低下しているものの、肥育素牛・初任牛価格の上昇のほか、生産資材価格の上昇や配合飼料価格の高止まりなどにより、経営は依然厳しい状況にあります。

また、環太平洋連携協定（T P P）交渉については、昨年 10 月に大筋合意され、農畜産物の大幅な関税の引き下げや撤廃により、協定発効後は日本農業に大きな影響を及ぼすことが見込まれます。

このような中であって、当協会においては、これまで実施してきた開拓営農振興事業などの事業を今年度も着実に実施しました。

具体的には、

- ① 開拓営農に取り組んでいる開拓者や開拓者以外の農家などの資質の向上や営農の推進を図るため、熊本県で講演会を開催しました。
- ② 開拓後継者、開拓組織の担当者等の国際感覚の涵養と農業経営の向上に資するため、オーストラリア連邦への海外研修を実施しました。
- ③ 全国開拓青年・女性研修会は、会員の協力を得て全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会とともに、兵庫県で開催しました。
- ④ 会員及びブロック協議会等が実施する各種研修会、共進会、開拓地の農畜産物を消費者に広く P R するための行事に助成しました。
- ⑤ 「開拓情報」を発行し、農政の動き、畜産技術・畜産経営に関する情報、中央・地方の開拓組織の活動を中心に幅広い情報提供に努めました。

これらは、いずれも会員はじめ関係機関の指導と協力により円滑に実施することができました。

I 一般概況

1 重要な処理事項

開催年月日	事 項
・平成 27 年 4 月 20 日	・決算監査、第 5 回監事会
・平成 27 年 5 月 12 日	・第 12 回理事会
・平成 27 年 6 月 15 日	・第 13 回理事会
・平成 27 年 6 月 16 日	・第 3 回定時総会
・平成 27 年 7 月 14 日	・提案書（第 14 回理事会）発出
・平成 27 年 10 月 28 日	・第 15 回理事会
・平成 27 年 11 月 4 日	・講演会（熊本県）
・平成 27 年 11 月 17 日～19 日	・全国開拓青年・女性研修会（兵庫県）
・平成 27 年 11 月 29 日	・海外研修（オーストラリア連邦）
～ 12 月 6 日	
・平成 28 年 3 月 9 日	・第 16 回理事会
・平成 28 年 3 月 10 日	・北海道、東北、関東、中部関西合同 ブロック会議（東京都）
・平成 28 年 3 月 17 日	・九州ブロック会議（福岡県）

2 総会・理事会

(1) 総会

○ 第 3 回定時総会

招集文書の発送 平成 27 年 5 月 15 日

総会開催日 平成 27 年 6 月 16 日

開催場所 三会堂ビル

総会開催日会員数 22

出席者数 22 （内訳）本人出席 20、書面議決 2

議決（承認）事項

第 1 号議案 平成 26 年度の事業報告の附属明細書、貸借対照表、
正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計
算書の附属明細書、財産目録の承認の件

第 2 号議案 平成 27 年度理事報酬の決定の件

第 3 号議案 平成 27 年度監事報酬の決定の件

第 4 号議案 理事 1 名選任の件

報告事項

平成 26 年度事業報告の件

平成 27 年度事業計画及び平成 27 年度予算の件

資金調達及び重要な設備投資の見込の件

(2) 理事会

○ 第 12 回理事会 (平成 27 年 5 月 12 日開催)

開催場所 三会堂ビル

議決 (承認) 事項

- ①平成 26 年度事業報告及び財務諸表等について
- ②補欠役員候補者の推薦について
- ③理事及び監事の報酬について
- ④定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等について

報告事項

- ①基本財産の積立について
- ②債券の再投資について
- ③公益目的取得財産残額について
- ④ブロック会議の質疑 (概要) について
- ⑤旅費規程細則の一部改正について
- ⑥今後の役員会等の予定について

出席等 決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 8 名、欠席 1 名、監事
出席 2 名 欠席 1 名

○ 第 13 回理事会 (平成 27 年 6 月 15 日開催)

開催場所 三会堂ビル

協議事項

- ①公益社団法人全国開拓振興協会 40 年の歩み (仮称) について

報告事項

- ①第 3 回定時総会について
- ②今後の役員会等の予定について
- ③「日本農業経営大学校の事業概要」の説明会について

出席等 決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 8 名、欠席 1 名、監事
出席 3 名

○ 第 14 回理事会 (みなし決議)

提案者 代表理事櫻井徳一

提案書発出 平成 27 年 7 月 14 日

提案の内容 松山開拓農業協同組合の正会員加入の承認の件

決議があったものとみなされた日 平成 27 年 7 月 28 日

○ 第 15 回理事会（平成 27 年 10 月 28 日開催）

開催場所 三会堂ビル

議決（承認）事項

- ①平成 27 年度上半期の職務執行状況報告について
- ②就業規則の一部改正（案）について
- ③特定個人情報取扱規程（案）について
- ④特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針（案）について

報告事項

- ①協会の事務所の移転について
- ②今後の役員会等の予定について

出席等 決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 9 名、監事出席 3 名

○ 第 16 回理事会（平成 28 年 3 月 9 日開催）

開催場所 三会堂ビル

議決（承認）事項

- ①平成 27 年度第 3 ・ 四半期の職務執行状況報告について
- ②理事会運営規則の一部改正（案）について
- ③加入及び退会規程の一部改正（案）について
- ④資産の管理運用規程の一部改正（案）について
- ⑤平成 28 年度事業計画及び平成 28 年度予算等について
 - ア 平成 28 年度事業計画及び平成 28 年度予算について
 - イ 資金調達及び設備投資の見込みについて

報告事項

- ①次期理事候補者の推薦依頼について
- ②今後の役員会等の予定について

出席等 決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 9 名、監事出席 3 名

3 会員の状況

区 分		会 員			
		前年度 末現在	本年度 加 入	本年度 脱 退	本年度 末現在
中 央 団 体		2			2
地 方 団 体		2 0	1		2 1
地 方 団 体 内 訳	農 協 連 合 会	3			3
	農 協	1 2	1		1 3
	開 拓 者 連 盟	2			2
	開 拓 振 興 協 会	3			3
合 計		2 2	1		2 3

4 役職員

区 分		前年度末 現 在	本年度 就 任 (採 用)	本年度 退 任 (退 職)	本年度末 現 在
役 員	常 勤 役 員	1			1
	非 常 勤 役 員	8	1	1	8
	監 事	3			3
	計	1 2	1	1	1 2
職 員	一 般 職 員				
	嘱 託 職 員				
	出 向 職 員	4	1	2	3
	臨 時 職 員	1		1	0
計		5	1	3	3

5 情報公開

定款、会費規程、役員報酬規程、会員名簿、役員名簿、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、事業計画、予算を公開しました。

6 「40 年の歩み」の発行

協会が設立され 40 年が経過し、協会の歴史や先人たちの不断の努力の跡を振り返り、今後の事業の推進に資するため、協会の記念誌として「40 年の歩み」を発行しました。

Ⅱ 開拓者支援事業（公益目的事業（公1））

開拓者支援事業は、開拓者の営農の振興を図り国民への食料の供給の推進を図るため、研修事業、開拓情報事業、開拓営農振興事業及び調査・研究事業を実施しました。

1 研修事業

開拓者及び開拓後継者の資質の向上、研鑽を図るとともに、開拓者の相互の交流を図ることにより、開拓者の農業経営の発展及び開拓営農の一層の推進を図り、国民生活に不可欠な食料の供給の推進を図るため、次の事業を実施しました。

（1）講演会

開拓営農に取り組んでいる開拓者や開拓者以外の農家などの資質の向上や営農の推進を図るため、熊本県人吉市において開催するとともに、講演会の概要をホームページに掲載しました。

日 時	平成 27 年 11 月 4 日（水）13 時 30 分から 16 時 30 分
場 所	熊本県人吉市「あゆの里」
講師・演題	鈴木宣弘氏（東京大学大学院教授） 『TPPと日本の農業・農協を考える』
参 加 者	111 名
広 報	協会ホームページ、開拓情報、人吉新聞、チラシ、ポスター
後 援	熊本県、人吉市、錦町、熊本県畜産協会、人吉新聞社、肥後開拓農業協同組合、全国開拓農業協同組合連合会

（2）海外研修

TPP、EPA等の交渉など海外との関わりが多くなっていることから、開拓後継者、開拓組織の担当者等が海外の農畜産業の実態等を見聞することにより国際感覚の涵養と農業経営の向上に資するため、海外研修を実施するとともに、研修の概要をホームページに掲載しました。

期 間	平成 27 年 11 月 29 日（日）～12 月 6 日（日）
研 修 地	オーストラリア連邦クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州
参 加 者	13 名（うち事務局 2 名）うち女性 2 名

（3）全国開拓青年・女性研修会

開拓営農の担い手である後継者として全国で営農に取り組んでいる

青年・女性の資質の向上と相互の連携の強化、交流を図るため、全国開拓青年・女性研修会を全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会と開催するとともに、研修会の概要をホームページに掲載しました。

名 称 全国開拓青年・女性研修会 in 兵庫
 日 時 平成 27 年 11 月 17 日（火）～19 日（木）
 場 所 兵庫県神戸市、姫路市
 講師・演題 白井操氏（料理研究家）
 『食べ物が教えてくれること』
 花房弘明氏（株式会社グリーンライフ代表）
 『食と健康、いかに消費者とつながったか』
 視 察 先 神戸市中央卸市場西部市場、家畜改良事業団家畜バイテクセンター神戸分室
 参 加 者 80 名

（４）全国開拓代表者大会

今年度の全国開拓代表者大会の実施予定はありませんでした。

2 開拓情報事業

開拓農家及び開拓組織の相互の連携の維持・強化を図るとともに、開拓者の営農のより一層の振興を図るため、全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会との共同編集により「開拓情報」を毎月、定期に発行し、購読を希望する者に無償で提供するとともに、ホームページに掲載しました。

発行に当たっては、農政の動き、農畜産の技術及び経営に関する情報の提供、優れた開拓農家、開拓地の紹介及び中央・地方の組織の活動状況の紹介等幅広い情報の提供、紙面の充実に努めました。

開拓情報の主な記事は、つぎのとおりです。

発行年月（号）	主 な 記 事
27.4（684 号）	・食料自給率目標 45％に ・「食料・農業 知っておきたい話」 - 32 - ・家畜改良増殖目標 能力・生産性向上めざす ・14 年度下半期消費者動向調査 ・トマト直立ネット誘引で良果収量 2 割向上 ・長切断粗剛乾草 高 NFC の TMR 給与 ・14 年牛・豚枝肉格付結果 ・畜産物需給見通し
27.5（685 号）	・畜産再興プランの実現へ ・「食料・農業 知っておきたい話」 - 33 -

発行年月（号）	主 な 記 事
	・ 10 年後の生乳・牛肉生産量維持 ・ 15 年度農薬危害防止運動開始 ・ 夏秋ピーマン ほ場ごと防虫ネット タバコガ類被害軽減 ・ 開拓農家訪問（福島県耶麻郡猪苗代町） ・ 黒毛去勢 CS・玄米 40%濃厚飼料給与 ・ 畜産物需給見通し
27.6（686 号）	・ 農業白書 農村活性化の推進を ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 - 34 - ・ T P P を考えるフォーラム ・ 景況 D I 多くの業種で悪化 ・ レタス根腐病 ペーパーポット育苗で被害軽減 ・ 3 産以上 乾乳期間 30 日程度短縮 ・ 早期に十分な暑熱対策を ・ 畜産物需給見通し
27.7（687 号）	・ 振興協会・連盟 総会を開催 新理事に安藤氏選任 ・ 協会・連盟総会での主催者挨拶 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -35- ・ 6 割「料理をするのが楽しい」 ・ キャベツ肥料制限苗 移植適期幅拡大 ・ 泌乳中後期 稲発酵粗飼料 4 割給与 ・ 15 年畜産統計 ・ 畜産物需給見通し
27.8（688 号）	・ 連盟、16 年度農水予算編成で要請 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -36- ・ 二つの公益事業で参加者募集 ・ 9 割の母親、節約に工夫 ・ アスパラガス半促成長期どり 夏季追加立茎で収益増加 ・ 乳牛 TMR に DDGS を混合 ・ 黒毛去勢 前期から稲 SGS を 3 割給与 ・ 畜産物需給見通し
27.9（689 号）	・ 畜産クラスター事業拡充へ ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -37- ・ 16 年度農林水産予算概算要求の重点事項 ・ 15 年秋の農作業安全確認運動開始 ・ ざ・開拓者 群馬県北軽井沢開拓 石田観光農園 ・ 秋口のハエ対策 ・ 交雑種雌ソルゴー主体 TMR 全期給与 ・ 畜産物需給見通し

発行年月 (号)	主 な 記 事
27.10 (690 号)	・ T P P 交渉が大筋合意 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -38- ・ 生乳生産量を上方修正 J ミルク ・ 15 年度上半期消費者動向調査 ・ ビニールハウス エアー送風内張 2 層化 ・ ざ・開拓者 広島県豊栄町(有)トムミルクファーム ・ 皮下脂肪厚計 繁殖成績改善に効果的 ・ 畜産物需給見通し
27.11 (691 号)	・ 熊本で日本の“農”講演会 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -39- ・ T P P 市場アクセス交渉大筋合意内容 ・ 景況 D I 多業種で大幅改善 ・ 施設園芸の雪害を防ぐ対策を ・ 乳牛 趾皮膚炎・蹄底潰瘍対策 ・ 和牛去勢肥育後期 米・稲わらサイレージ混合 TMR 給与 ・ 畜産物需給見通し
27.12 (692 号)	・ 畜産酪農 経営安定対策の強化を ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -40- ・ 兵庫で全国開拓青年・女性研修会 ・ 野菜・果樹等 多くの経営体で所得減少 ・ キャベツ リン酸 64%減肥可能 ・ 泌乳中期 トウモロコシサイレージ 6 割 TMR 給与 ・ 14 年度畜産物生産費 全畜種で依然増加続く ・ 畜産物需給見通し
28.1 (693 号)	・ 農水関係 2 兆 3091 億円確保 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -41- ・ T P P 経済効果 農林水産物最大 2100 億円減 ・ 野菜の低価格志向増加傾向 ・ 日本ナシ新一文字型樹形 早期成園化と省力化が可能 ・ 離乳子豚 乳製品混合液・豆腐粕給与 ・ 牛が全品種で減少、豚は微増か 2016 年肉牛・肉豚出荷頭数予測 ・ 畜産物需給見通し
28.2 (694 号)	・ 生乳供給量の不足傾向続く ・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -42- ・ 畜産クラスター事業拡充 ・ 野菜のたくさん摂取を重視 成人の野菜摂取調査

発行年月（号）	主 な 記 事
	・ ざ・開拓者 長野県南牧村野辺山開拓 ・ 初産牛 一乳期に同一 TMR 給与 ・ 黒毛去勢 4 ヶ月齢から牧草サイレージ給与 ・ 畜産物需給見通し
28.3（695 号）	・ 農水省と意見交換会開催 連盟 ・ 穀物の期末在庫量前年比 2.1%増 ・ T P P 関連 Q & A 集作成 ・ 春の農作業安全確認運動開始 ・ トラクタ 浅層暗渠施工器マニュアル作成 ・ 泌乳前期 稲 wcs 主体 TMR 給与 ・ 農場拝見 福岡県宮若市・森下牧場 ・ 畜産物需給見通し

3 開拓営農振興事業

開拓者の農業経営の発展と開拓営農の一層の推進及び国民生活に不可欠な食料の安定した供給を図るためには、開拓営農に取り組んでいる開拓者の農業経営の持続的発展・強化を図る必要があることから、次により開拓営農振興事業を実施しました。

（1）開拓関係諸行事

会員が当協会の示す開拓関係諸行事事業から選定して実施する開拓営農支援対策及び開拓営農推進対策に助成しました。

（2）ブロック開拓関係諸行事

ブロック協議会が当協会の示すブロック開拓関係諸行事事業から選定して実施する研修会事業及び先進地視察事業等に助成しました。

（3）表彰

開拓者が参加する共進会、品評会等において優秀な成績を収めた者に対して、開催者の申請により当協会の会長の表彰状のほか副賞を贈呈しました。

4 調査・研究事業

（1）戦後開拓に関する資料の一般公開

戦後の幾多の苦難を克服し、輝かしい成果を上げるに至った開拓農家及び開拓組織の歩みに関する刊行物や資料を収集、整理・保管し、一般の利用に供するとともに、戦後開拓の資料について相談に応じました。

参考
事業体系図

